

令和3年度(2021年度)用

中学校国語科書写用

「新しい書写」 年間指導計画作成資料 【2年】

※单元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新しい書写」(第2学年)年間指導計画作成資料

単元名の欄中「(3)エ(ア)」などは学習指導要領の内容を示す。

月	単元名	単元の目標	時数	学習活動	観点別評価規準
	書写で学ぶこと p.2-3	書写学習の目的を理解することができる。	適宜	① 3年間の学習の流れを見通す。	
	書写の学習の進め方 p.4	学習の進め方の要点を理解することができる。	適宜	① 書写の学習の進め方を理解する。	
1 行書の書き方を学ぼう					
4 5	点画の省略〈桜色〉 p.50-51 (3)ウ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆	点画の省略について、書く動きと省略の仕方を理解して書くことができる。	3	① 行書の点画の省略の仕方と省略される理由について、書く動きを楷書と比べて考える。 ② 点画の省略の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。 ③ 点画の省略を、毛筆や硬筆で書いて確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○行書の点画の省略について、書く動きと省略の仕方を理解して書いている。
5 6	筆順の変化〈若緑〉 p.52-53 (3)ウ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆	筆順の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書くことができる。	3	① 行書の筆順の変化の仕方と筆順が変化する理由について、書く動きを楷書と比べて考える。 ② 筆順の変化の仕方と動きを「書写のかぎ」で確認する。 ③ 筆順の変化を、毛筆や硬筆で書いて確かめる。 ④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。	【知識・技能】 ○行書の筆順の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。
	行書のまとめ② p.54-55 (3)ウ(ア) 【用具】鉛筆	行書の点画の省略と筆順の変化を理解して書くことができる。	適宜	① 行書の点画の省略を理解して確かめながら書く。 ② 行書の筆順の変化を理解して確かめながら書く。 ③ 「書写テスト」に挑戦する。	【知識・技能】 ○行書の点画の省略と筆順の変化を理解して書いている。

2 行書と仮名を交えて書こう					
6 5 7	<p>行書と仮名の調和 〈豊かな自然〉 p.56-57 (3) ウ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>行書と平仮名を調和させるときに気をつけることを理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 例文を行書と楷書で書き比べ、行書に平仮名を交えて調和させる方法を考える。</p> <p>② 行書と仮名の調和のさせ方を「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 行書と平仮名の調和を、毛筆や硬筆で書いて確かめる。</p> <p>④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○行書と平仮名の調和のさせ方を理解して書いている。</p>
9	<p>行書に調和する仮名 〈五十音表〉 p.58-60 (3) ウ (ア) 【用具】毛筆・鉛筆</p>	<p>行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 行書に調和する平仮名の特徴について、楷書と比べて考える。</p> <p>② 行書に調和する仮名の特徴を「書写のかぎ」で確認する。</p> <p>③ 教科書の文字をなぞったり書いたりして、行書に調和する仮名の特徴を確かめる。</p> <p>④ 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。</p> <p>⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○行書に調和する仮名の特徴を理解して書いている。</p>
	<p>[文字のいずみ] 文字と絵 p.61 (3) ウ (ア)・(イ)</p>	<p>文字と絵の関係について知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 江戸時代の「文字絵」についての解説を読む。</p> <p>② 文字を生かしてデザインされた都道府県の県章についての解説を読む。</p>	

10	<p>文字の大きさと配列 〈草山に馬放ちけり秋の空〉 p.62-63 (3) ウ (ア) 【用具】 小筆 (筆ペン)・鉛筆</p>	<p>行書で配列を整えて書くにはどうすればよいか理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 教科書の文の配列を整える方法を考え、説明する。 ② 行書の配列の整え方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 小筆や筆ペン、硬筆で書いて、文字の大きさや配列を確かめる。 ④ ①の文を「書写のかぎ」を生かして行書で書き直す。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○行書の配列を整える方法を理解して書いている。</p>
	<p>【生活に広げよう】 本のポップを書こう p.64-65 (3) ウ (イ) 【用具】 筆ペン・ペン</p>	<p>内容を効果的に伝える配列を考えて書くことができる。</p>	1	<p>① ポップに書く内容を考える。 ② 内容を効果的に伝える工夫をして、下書きを書く。 ③ 下書きをもとにポップを作成する。 ④ 紹介したい本とポップを展示して、感想を伝え合う。 ⑤ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【思考・判断・表現】 ○ポップを書くときに、既習事項をどのように生かすか考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○既習事項を生かして、進んで、内容が効果的に伝わるポップを書こうとしている。</p>
3 楷書と行書を選んで書こう					
11	<p>楷書と行書の使い分け p.66-67 (3) ウ (イ) 【用具】 ペン・鉛筆</p>	<p>どのような観点で楷書と行書を使い分けるか理解することができる。</p>	1	<p>① 楷書と行書を使い分ける観点を、具体的な場面から考える。 ② 楷書と行書のそれぞれの特徴や使い分ける観点を「書写のかぎ」で確認する。 ③ 楷書と行書、それぞれのよい点を具体的な場面をもとに考え、話し合う。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○楷書と行書を使い分ける観点について理解している。</p>

12	<p>場面や目的に応じた書き方 p.68-69 (3) ウ (イ) 【用具】毛筆・ペンなど</p>	<p>場面や目的に応じた適切な書き方を理解して書くことができる。</p>	2	<p>① 読みやすくするための方法について、具体物から改善点を見つけて話し合う。 ② 場面や目的に応じた書き方を「書写のかぎ」で確認する。 ③ はがきを出す相手を決め、相手に応じた書体・筆記具を考えて文章を書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知識・技能】 ○場面や目的に応じた書き方を理解して書いている。</p>
	<p>行書のまとめ③ p.70-71 (3) ウ (イ) 【用具】鉛筆・ペン</p>	<p>行書に調和する仮名の書き方と配列を理解して書くことができる。</p>	適宜	<p>① 行書に調和する仮名の書き方を理解して、確かめながら書く。 ② 行書の配列の整え方を理解して、確かめながら書く。 ③ 「書写テスト」に挑戦する。</p>	<p>【知識・技能】 ○行書に調和する仮名の書き方と配列を理解して書いている。</p>
	<p>【文字のいずみ】 手書き文字と活字 p.72-73 (3) ウ (ア)・(イ)</p>	<p>手書き文字と活字の違いについて知り、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 手書き文字と活字の違いについて考える。 ② 活字の特徴的な表現方法について知る。</p>	
12	<p>【文字のいずみ】 書き初めをしよう 〈感謝する心〉〈信念を貫く〉〈最善を尽くす〉〈平和の祈り〉 p.74,101-104 (3) ウ (ア)・(イ) 【用具】毛筆</p>	<p>書きたい言葉と書体を考え、これまでに学習してきた「書写のかぎ」を生かして、書き初めを書くことができる。</p>	1	<p>① 書きたい言葉と書体を考える。 ② これまでに学習した「書写のかぎ」をどのように生かすか考える。 ③ 書き初めを書く。</p>	<p>【知識・技能】 ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。</p>

1 3	<p>[生活に広げよう] 防災訓練に参加しよう p.75-77 (3) ウ (ア)・(イ) 【用具】鉛筆・ペン・毛筆</p>	<p>書写で身につけた力を生活のさまざまな場面で生かすことができる。</p>	3	<p>① 「防災訓練」という場面設定で、書写で学習したことをどのように生かすか話し合う。 ② それぞれの場面で活用する既習事項や書式の書き方を、実例を見て確認する。 ③ 実際の場面を想定して、場面に合わせた書式で書く。 ④ 自己評価・相互評価をする。</p>	<p>[思考・判断・表現] ○場面や目的に応じて既習事項をどのように生かすか考えている。 [主体的に学習に取り組む態度] ○既習事項を生かして、進んで、目的や場面に合った文字を書こうとしている。</p>
	<p>[文字のいずみ] 書いて味わおう 「平家物語」 p.78 (3) ウ (ア)・(イ) 【用具】鉛筆</p>	<p>古典文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。</p>	適宜	<p>① 「平家物語」の文章を書く。</p>	
書写活用ブック					
	<p>さまざまな書式 (手紙, 新聞, リーフレット, ポスター, フリップ, レポート, 原稿用紙 ほか) p.(2)-(9)</p>	<p>さまざまな場面にふさわしい書き方や、情報のまとめ方を理解することができる。</p>	適宜	<p>① 手紙, 新聞, リーフレット, ポスター, フリップ, レポート, 原稿用紙, 入学願書, 複写式の用紙, 往復はがき, のし袋, 簡潔な手紙, 電子メールの書き方についての解説を読む。</p>	
	<p>行書の部分の形 p.(10)-(11)</p>	<p>行書の部分の形の違いを理解することができる。</p>	適宜	<p>① 上段の文字にならない, 形の違いを意識しながら空欄に行書で書く。</p>	
	<p>常用漢字表, 人名用漢字表 p.(12)-(32)</p>	<p>常用漢字, 人名用漢字の手書きの書き方を理解することができる。</p>	適宜	<p>① 常用漢字 2136 字・人名用漢字 863 字の楷書体と行書体を一覧する。</p>	